

令和 () 年度 個別の指導計画(自立活動)

部 年 名 前 :	診 断 名 :	担 任 :
-----------	---------	-------

知的障害だけでなく、他の診断名も記入する。

1 支援計画との関連 (※支援計画から抜粋)

本人・保護者の願い	
個別の教育支援計画 長期目標	
個別の教育支援計画 重点目標	

2 実態把握・指導方針 (※学級の担任団等、複数人で本人の実態を明らかにすること)

ストロングポイント (好き、得意、興味がある)	<p>● 教員集団での付箋の書き出し作業後、グループ化し、概要を文章化したストロングポイント (好き、得意、興味がある) を記入する。</p>			
● 学習上・生活上の困難さ →見立て	<p>● で、整理された特徴を文章化し、→で、どのようなことが関連してそのような姿につながっているのかを考察し、記入する。 ※「～ことが難しい、～できないことがある」等の課題の書き方をす。「～できる」等の、目標的な書き方はしない。</p>			
指導すべき内容 (6区分27項目)	1 健康の保持	<input type="checkbox"/> ①生活のリズムや生活習慣の形成 <input type="checkbox"/> ②病気の状態の理解と生活管理 <input checked="" type="checkbox"/> ③身体各部の状態の理解と養護 <input type="checkbox"/> ④障害の特性の理解と生活環境の調整 <input type="checkbox"/> ⑤健康状態の維持・改善	4 環境の把握	<input type="checkbox"/> ①体有する感覚の活用 <input type="checkbox"/> ②感覚や認知の特性についての理解と対応 <input type="checkbox"/> ③感覚の補助及び代行手段の活用 <input type="checkbox"/> ④感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動 <input type="checkbox"/> ⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
	2 心理的な安心	<input type="checkbox"/> ①情緒の安定 <input type="checkbox"/> ②状況の理解と変化への対応 <input type="checkbox"/> ③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	5 身体の動き	<input type="checkbox"/> ①姿勢と運動・動作の基本的技能 <input type="checkbox"/> ②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 <input type="checkbox"/> ③日常生活に必要な基本動作 <input type="checkbox"/> ④身体の移動能力
	3 人間関係の形成	<input type="checkbox"/> ③自己の理解と行動の調整 <input type="checkbox"/> ④集団への参加の基礎	6 コミュニケーション	<input type="checkbox"/> ③言語の形成と活用 <input type="checkbox"/> ④コミュニケーション手段の選択と活用 <input type="checkbox"/> ⑤状況に応じたコミュニケーション
	<p>● 指導すべき内容 (6区分27項目) にチェックを入れる。</p>			
指導方針	<p>ストロングポイントの生かし方も含めて、指導方針を記入する。 ※今年度だけに限らず、将来を見越して記入する。 ※「～の課題解決のために○○ (ストロングポイント) を生かして、△△する。」のように記述する。 ※指導すべき内容に関連する6区分27項目を数字で記入する。(例：2-①②、6-⑤等) ※指導すべき内容に入れたチェックと指導方針の項目が全て網羅されているか確認する。</p>			

3 指導計画の設定 (※学級の担任団等、複数人でアイデアを出し合い、計画を立てること)

長期目標 (めざす姿)	<p>● 指導方針からめざす姿 (長期目標3年間) を教員集団で話し合い、記入する。 ※児童生徒の実態に応じて、めざす姿は複数でもよい。 ※長期目標の3年間は小学部3年生終了時点、小学部卒業時点、中学部卒業時点、高等部卒業時点での姿をイメージし、設定する。長期目標の変更が必要な場合は、見え消しで変更し、文末に (R7.4 変更) と記入する。</p>		
今年度の目標	【1】 【2】	<p>● めざす姿 (長期目標3年間) に近づくために、この一年間で達成したい今年度の目標を記入する。</p>	
今年度の指導内容	学習活動 (指導場面)	指導内容、学習活動 (指導場面) の見直し (前期終了時)	
【1】 (6-③④)	● 今年度の目標を達成するために必要な自立活動の指導内容を話し合い、記入する。(指導内容の数は児童生徒に応じて設定する。 ● 今年度の目標と対応する番号を記入する。		
【1】	<p>● 指導内容に関連する6区分27項目を数字で記入する。(例：2-①②、6-⑤等) ※指導方針に記入した項目が、ある程度網羅されているか確認する。児童生徒の実態や発達段階によって、今年度は指導しない項目もあるため、全て網羅する必要はない。</p>		
【2】	<p>● 指導内容を達成するための手立てとなる学習活動と指導場面を話し合い、記入する。 ● 指導場面は、個別の課題学習やチャレンジタイム、集団自立や教科名等を () で記入する。 ● 前期終了時の見直しで変更があった場合は、見え消し (⊖⊖) をし、(10月変更) と記入する。 ● 新たな学習活動の設定があった時にはその学習活動を追記し、(10月追記) と記入する。また、前期終了時に関わらず、変更等の必要性が出た場合はその都度計画の修正を行い、(〇月変更、又は、〇月追記) のように記入する。 ※学習活動を学校生活全般に般化する場合は、個別の課題学習から学習を始めるという考え方で (個別の課題学習～学校生活全般) と表記する。</p>		
今年度の目標評価 (後期終了時)	【1】 【2】	<p>● 前期終了時に指導内容、学習活動 (指導場面) について見直し、継続や改善の状況を記入する。</p>	
次年度に向けて	<p>● ※後期終了時に今年度の目標に対する評価を記入する。(目標達成のための学習活動と絡めて記入する。)</p> <p>● ※次年度に向けて伝えておく良いことを記載する。</p>		

※自立活動の計画は文字幅の縮小をかけるなどして、この一枚でおさまるようにする。

()部 ()年 名前： _____ 担任： _____

個別の教育支援計画 長期目標 _____ 個別の教育支援計画 重点目標 _____

※自立活動の視点から、各教科等、授業の場面で留意してほしい事項や支援方法を記入する。

■自立活動の今年度の目標 _____

■自立活動と各教科等における関連 _____

・活動に見通しがもてるよう、見本や手順表を提示する。
 ・教師や友達とコミュニケーションをとり、関わりながらできる活動を取り入れる。
 ・気持ちの伝達ツールを選択できるよう、選択肢を用意する。
 ・援助要請や気持ちの伝達など、カードの選択で表現することで、語彙の拡充と定着につなげる。

教科等	教科等に関する実態	指導目標	●指導内容 ・指導方法・手立て等	評価
国語科				
数学科				

①昨年度の、各児童生徒の個別の指導計画様式 2 評価の欄を参照する。
 ②各教科は、学習指導要領で示されている 3 つの柱の指導内容から最重要なものを選択し、生徒の様子に当てはめて、全文、又はその一部を表記し直す。(共有→学習指導要領内容一覧表)
 ③「生活単元学習」などや上記②の方法では、児童生徒の様子を表現するのが難しい場合は、担当が学習を通して把握した様子を簡潔に記載する。

様子①③の場合は、主に自立活動指導内容表の目標等や支援計画と関連づけて考える。
 様子②の場合は、3 つの柱の次の段階の全文又はその一部を表記したりする。自立活動指導内容表とも関連付けられる場合は、それも記入する。

①年間カリキュラムをもとに、指導内容等を簡潔に記載する。
 ②指導内容、指導方法（手立て）すべてを記載する必要はない。
 ③指導内容や方法を記載する際には、可能な範囲で具体的に表記する。

年度末に簡潔に記載。
 左指導方法や手だてに対する経過や評価、来年度に繋げる課題などを簡潔に記載する。

目標・内容の一覧〔国語〕

学部	小学部		
教科の目標			
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し使うことができるようになる。		
思考力、判断力、表現力等	(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思考力や想像力を養う。		
学びに向かう力、人間性	(3) 言葉で伝え合うよさを感じるとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。		
内容	1段階	2段階	3段階
知識及び技能	ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	ア 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
	(ア) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。	(ア) 身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じる。	(ア) 身近な人との会話や読み聞かせを通して、言葉には物事の内容を表す働きがあることに気付く。
		(イ) 日常生活でよく使われている平仮名を読む。	(イ) 姿勢や口形に気を付けて話す。
		(イ) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。	(ウ) 日常生活でよく使う促音、長音などが含まれた語句、平仮各片仮名、漢字の正しい読み方を知ること。
		(ウ) 身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れる。	(ウ) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることに気付く。

令和 () 年度 個別の指導計画(自立活動)

部 年 名 前：	診断名：	担任：
----------	------	-----

1 支援計画との関連 (※支援計画から抜粋)

本人・保護者の願い	
個別の教育支援計画 長期目標	
個別の教育支援計画 重点目標	

2 実態把握・指導方針 (※学級の担任団等、複数人で本人の実態を明らかにすること)

ストロングポイント (好き、得意、興味がある)				
● 学習上・生活上の困難さ →見立て	<ul style="list-style-type: none"> ● → ● → ● → ● → 			
指導すべき内容 (6区分27項目)	1 健康の保持	<input type="checkbox"/> ①生活のリズムや生活習慣の形成 <input type="checkbox"/> ②病気の状態の理解と生活管理 <input type="checkbox"/> ③身体各部の状態の理解と養護 <input type="checkbox"/> ④障害の特性の理解と生活環境の調整 <input type="checkbox"/> ⑤健康状態の維持・改善	4 環境の把握	<input type="checkbox"/> ①保有する感覚の活用 <input type="checkbox"/> ②感覚や認知の特性についての理解と対応 <input type="checkbox"/> ③感覚の補助及び代行手段の活用 <input type="checkbox"/> ④感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動 <input type="checkbox"/> ⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
	2 心理的な安定	<input type="checkbox"/> ①情緒の安定 <input type="checkbox"/> ②状況の理解と変化への対応 <input type="checkbox"/> ③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	5 身体の動き	<input type="checkbox"/> ①姿勢と運動・動作の基本的技能 <input type="checkbox"/> ②姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 <input type="checkbox"/> ③日常生活に必要な基本動作 <input type="checkbox"/> ④身体の移動能力 <input type="checkbox"/> ⑤作業に必要な動作と円滑な遂行
	3 人間関係の形成	<input type="checkbox"/> ①他者とのかかわりの基礎 <input type="checkbox"/> ②他者の意図や感情の理解 <input type="checkbox"/> ③自己の理解と行動の調整 <input type="checkbox"/> ④集団への参加の基礎	6 コミュニケーション	<input type="checkbox"/> ①コミュニケーションの基礎的能力 <input type="checkbox"/> ②言語の受容と表出 <input type="checkbox"/> ③言語の形成と活用 <input type="checkbox"/> ④コミュニケーション手段の選択と活用 <input type="checkbox"/> ⑤状況に応じたコミュニケーション
指導方針	.			

3 指導計画の設定 (※学級の担任団等、複数人でアイデアを出し合い、計画を立てること)

長期目標(年間)	.		
めざす姿	.		
今年度の目標	【1】 【2】		
今年度の指導内容	学習活動 (指導場面)	指導内容、学習活動 (指導場面) の見直し (前期終了時)	
今年度の目標評価 (後期終了時)	【1】 【2】		
次年度に向けて	.		

